



非二元論的アプローチによるオルタナティブな社会デザイン ー 地域に学び持続可能な未来を志向するー

外国語教育センター 准教授 佐藤 智照

近代は、人々を豊かにしたか。持続可能な未来を志向するとき、私たちはどのようなポスト近代をデザインすべきか。留学生と共に考えています。

島根県にゆかりのある小泉八雲と柳宗悦には共通した思想があります。それは、非二元論、そして、二元論に依存した社会からの脱却です。二元論によって、科学、経済が発展し、人間の暮らしは向上しました。二元論は、現代の世界に広く浸透しています。一方で二元論は、分類と階層的な区別を特徴とするため排除のデザインとも呼ばれています。二元論は、本来は分離して語ることでできない複雑につながる世界の複雑性を低下させ、人々の物事の認識を変容させました。自然と人間、個人と他者などのつながりを分断した結果、人々は自然から多くを奪い、他者からも多くを奪いました。現代を生きる私たちは、環境破壊、国家間の対立、格差社会など多くの社会的課題を抱えています。小泉八雲の『知られざる日本の面影』『怪談』、柳宗悦の民藝運動など、彼らの非二元論的アプローチによる存在論的転回の運動は、私たちに課題解決の糸口を与えてくれます。彼らが島根県に残した軌跡を辿り、持続可能な未来につなげる取り組みを行っています。

